

高知憲法速報

No.247 2011. 1. 28

発行:高知憲法会議事務局 088-872-3406

編集人 事務局 徳弘嘉孝

2011年度高知憲法会議総会

年1回の憲法会議総会です。加盟各団体(できれば複数で参加ください)個人会員の方もご出席ください。

日時;2月3日(木)午後6時~8時半予定

場所;高知市市民活動サポートセンター2階会議室

ミニ講演;「地域主権改革の問題について」約40分

講師・岡田和人(共産党県委員会政策委員長)

会場は鷹匠町の市役所別館前です。駐車場がありませんので民間駐車場を御利用下さい。

「親善いずこ米艦宿毛寄港」 1・26~27

地元・高知新聞は上のタイトルで記事を書きました。

1月26日今回4度目となる米海軍軍艦「トーテュガ」の寄港、県へは目的を「友好と親善」と届け出ていましたが、同時に寄港した海上自衛艦「しもきた」は寄港目的を「訓練後の休養」としており、海自のホームページでは1月24日佐伯出港から27日宿毛出港まで演習を行うとなっていました。これまで3回と違ってマスコミを艦内に入らせることもなく、ほとんどの兵士も上陸しない、まさに訓練として寄港し出港したのが実態です。24日から豊後水道で揚陸艇LCACを走らせた演習を行っており、民間の船舶が多数航行し、巻き網漁の船団が多数散らばる海域で演習が行われたことも問題です。自衛隊がアメリカと一体になって行動する訓練が着々と行われていることを見せつけました。宿毛湾は民間港であり同時に稚魚の育つ藻場を持つ漁場でもあります。大型船の出入りで砂が巻き上げられ、砂に産んだ卵が死滅する心配、米軍艦船の有機スズ(船舶に貝がつかないように塗られた塗料に含まれる)が溶け出す恐れ、汚染されたバラスト水が放出される危険など漁業に対する心配もあります。米兵と無警戒に子どもたちがつきあい、問題が発生する危険もあります。経済効果といっても兵士たちが地元の店で買い物をすることも少なく「儲かるのはタグボートの会社だけ」という指摘もあります。市民県民に慣れさせることも大きな目的だと考えられます。昨年閣議決定された「防衛計画の大綱」では潜水艦をこれま

での16隻から22隻に増強することが決められましたが、呉基地は手いっぱいという状態であり、リマ海域にも近い宿毛が新たに潜水艦の基地として狙われる可能性も指摘されました。今回の米軍艦には海軍300人の他海兵隊40人が乗っており、自衛隊と実戦的な共同訓練を行ったことが考えられます。友好親善という仮面を脱ぎ棄てた寄港となりました。非核証明の提出を求めることもなく、寄港目的の偽りを指摘することもなく寄港を認めた高知県行政の姿勢も問題にしていかねばなりません。リマ海域の撤去、米軍機低空飛行の中止、港湾の軍港化阻止などの課題を県民世論にしていきたいものです。1月26日8時から開かれた抗議集会には約100名が参加、高知市からもマイクロバスなどで参加しました。

映画「鶴彬—こころの軌跡—」上映会

日時;3月5日(土)10:30~、12:30~、14:30~

16:30~、18:30~ 5回上映

場所;高知市立自由民権記念館・民権ホール

入場料;前売り1000円、当日1500円

主催;治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟高知県本部
四国文映社(連絡先088-822-7486)

後援;高知市教委、高知市文化振興事業団、マスコミ各社、国民救援会高知県本部

内容;昭和初期「川柳」を武器に、反戦・反権力を貫いて治安維持法違反で逮捕され、29歳で亡くなった鶴彬(本名・喜多一二)の生き方を、神山征二郎監督がドキュメンタリードラマとして映像化しました。池上リョウマ、櫻山文枝、高橋長英ら出演。代表作「暁を抱いて闇にみる蕾」「手と足をもいだ丸太にしてかえし」「胎内の動きを知るころ骨がつき」「暴風と海との恋を見ましたか」など

街頭宣伝署名行動

昨年1年間の街頭宣伝署名活動をまとめました。

高知憲法会議; 8回27名254筆

こうち九条の会; 20回94名1154筆

内2回は合同の取組みですが、参加者で案分してあります。右翼の妨害、小学生の協力、飛び入りでの応援などさまざまなドラマがあります。若い人がよく話を聞いてくれました。参加者が少ないのが悩みの種です。

次回;2月5日(土)1:30~こうち九条の会

2月19日(土)1:30~九条の会、憲法会議合同

会場は帯屋町グリーンロード